

【特別紹介】

三十人のチーム率いて 日本企業の中国ビジネスをサポートする弁護士 王 穂氏



北京の高校卒業後、人民大学に合格したにもかかわらず、言葉も何も通じない大阪へ行く道を選択したのは二十四年前のこと。最初はとにかく日本語を必死で習得し、一年半後、外国人統一試験でトップの成績を収め、京都大学経済学部、東京大学法学部に合格。中国にいる親の反対を押し切って東大法学部に進学、法律を志すことを決意した。

元々は理工系出身であり、英語習得後に欧米へ留学という目標を持っていたのだが、振り返ってみると、やはり、この日本留学という経験は非常に良かったと言う。日本には、中国ではほぼ失われている儒教の文化が残っており、自分の性格にも非常に合っていると感じたようだ。

日本留学時代、日本の戦国史にすっかり夢中になった。「大河ドラマ」は欠かさず、神保町や大阪の古本屋の活字がびっしり詰まった本を読みふけり、その数は百冊を超えた。戦に勝とうと負けようと、それぞれ自分のポリシー、信念を全うしながら立派に一所懸命に生きた武将に魅了された。

中国と日本の関係は、もはや切り離せないものとなっている。経済面、技術面、その他多方面で相互協力が欠かせない存在であると言える。ここ数年は、日中問題として大きく取り上げられたり、メディアに騒がれるような事件、状況が続いており、お互いにデメリットとなっている状態だと言える。ヨーロッパの歴史においても、英仏独が戦いを繰り返す時代があったが、現在では、お互い

に許容し、協力し合うことでそれぞれの力が高まるEUという共同体を作り上げている。

日中間にも、このような友好協力関係を築き上げる十分な智恵やノウハウは備わっているはずだ。何とかお互いが譲歩し合い、近い将来、お互いにとってメリットとなる良き関係となることを願っている。

現在は、二〇〇六年に中国人弁護士三人で立ち上げた事務所にて、上海を拠点に、約三十人のチームに支えられながら、主に日本企業に向けリーガルサポートを行っている。日本人や日本企業のビジネス思考、文化、特徴を理解した上で、中国での成功に導く架け橋的な役割ができればと考えている。

現在の顧客の八割以上が日本企業であり、ストライキ、リストラ、不正などの労務人事案件から、進出・撤退、吸収・合併、債権回収、知的財産、行政許認可関連まで幅広い業務に対応。これも三十人とのチームワークがあつて初めて成立するスキームであると実感している。日本企業が必要としている、「日本語による、直接かつ具体的ソリューションとなる、スピーディーなリーガルサポート」を目標に、最大限に満足してもらえような業務対応に尽力している。

将来的には、更なるチーム拡大、事務所全体のパワーアップによって、上海以外にも北京や深圳、東京、その他にも支店を設立することで、中国全土及び日本においても常に直接対応できる中国最大の日本企業専門法律事務所としていくことを目指している。

【連絡方法】 王穩 (Wang Wen) パートナー弁護士

開澤法律事務所 (Kaizawa Law Firm)

上海市浦東新区陸家嘴東路 166 号中国保険大廈 2804 室

Tel: +86 (21) 6876 7600

wangwen@jhlflaw.com <http://www.jhlflaw.com/>